

平成26年度千代田区立お茶の水幼稚園 幼稚園経営計画

I 目指す幼稚園

- 子どもたちがよく遊びよく学び心身ともに健やかに育つ幼稚園。
- 保護者や地域も加わって園が生き生きと活気ある活動を展開する幼稚園。
- 子どもがよりよい幼稚園生活を送れるよう幼稚園運営等を改善し発展する幼稚園。
* P D C Aサイクルに沿ったO J Tによる幼稚園運営

II 目指す幼児像

人権尊重の精神に基づき幼児一人ひとりの特性を踏まえ、

- ① 遊びや生活にめあてをもって取り組み、のびのびと体を動かして遊ぶ幼児
- ② 友達や様々な人とかかわりを楽しみ、互いのよさを認め合う幼児
- ③ 考えて行動し自分の力を十分に発揮する幼児

の育成を目指し、次の教育目標を設定する。

- あかるく げんきな子 ○なかよく あそぶ子 ○よくかんがえ やりぬく子

〔指針〕 日常生活で幼児たちに伝え、心がけること

心に関する力「手と手（人と人と）のつながり」「言葉のつながり」「心のつながり」という「3つのつながりを大切にする」ことと「自ら考えて行動する」こと、そして、そのために「あいさつ・返事・後始末をしっかりと行おう」ということを繰り返し話していく。

III 目標と方策

1 「別紙」（別紙は教育課程と連動し、次の項目で構成する。）4月16日策定

2 「別紙」の項目

目標→組の目標→中期的な目標→指導の重点とする方策→ねらい・重点とする具体的な取り組み
→（自己の目標）

3 評価／成果の指標は「目標と方策の評価計画」に示す。

4 別紙作成の留意点

- (1) 各目標について組の目標を設定し、具体的な取り組みを検討する。また、各分掌においても具体的な取り組みを検討する。
- (2) 具体的な取り組みは年度途中、年度末に評価できる内容とする。評価は担当が計画し、全教職員で実施する。なお、年度途中による評価から改善・充実を図る。
- (3) 自己の目標は、組・分掌における具体的な取り組みをさらに具体的な実効ある計画とする。（昨年度の最終申告に留意する）自己の目標に関する評価は、「自己評価補助資料」を活用する。（年度末園長から資料を配布する。）

*各自の自己申告の目標（各項目）は、各目標に基づき設定する。

IV 評価

目標・計画について、その達成状況を把握・整理し、取組みの適切さを検証することにより、組織的・継続的に教育課程の編成に反映させる。

次の評価を実施し説明・公表することにより、信頼される開かれた幼稚園づくりを進める。

- 基本となる指標（平成 25 年度の各評価）
- 年度途中で自己（幼稚園）評価を行う
- 年度末に次の評価を行う：自己（幼稚園）評価，保護者アンケート

【参考】学校評価委員会について

1 学校評価委員会の設置

お茶の水幼稚園・小学校学校運営連絡会設置要綱に記載。

2 学校評価委員会の目的

学校評価委員会は、学校が行う自己評価の結果を踏まえ、学校運営、教育活動、地域との連携等について改善を図るために、学校運営連絡会が行う学校評価のための学校関係者評価報告原案の作成を行う。

3 学校評価委員会の役割

次のことについて所掌する。

- (1) 学校評価にかかわるアンケート等の内容及びアンケート等対象者について
- (2) 学校評価の項目及び評価スケジュール等について
- (3) 学校・幼稚園の自己評価の結果を踏まえた、学校関係者評価報告原案について
- (4) 学校運営連絡会への報告について

4 評価結果について

学校運営連絡会は、学校評価委員会から提出された報告や、日常の活動、連絡会の中での意見交換、その他の情報を基に話し合いを行い、校長に対して、助言及び提言を行う。

〔補足〕学校評価委員会の概要

- 学校運営連絡会（学校評価委員会）が、学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価結果について評価を行う。（学校の自己評価が適切に行われたかどうか、学校運営の改善に向けた取組みが適切かどうか検証する。）
- 学校は、評価結果をまとめた学校関係者評価報告書（案）を作成する。
- 学校は自己評価結果及び学校関係者評価書を教育委員会に提出する。また、両結果を公表する。

V 経営・組織等

- 1 服務規律の遵守を徹底するため、校内の服務規律を点検するとともに、教職員へ徹底した指導を行い、東京都・千代田区の幼稚園教育における信頼の確保に努める。（研修は服務研修計画により毎月実施する。）
- 2 いじめに関連する問題・体罰を許さない園内の雰囲気を教職員・幼児・保護者で共有し、安全な幼稚園生活を送ることができるようにする。
- 3 予算執行状況の管理と予算の有効活用を図る。
- 4 物品のリサイクルに努め、ゴミの計画的な廃棄を実施するとともに、省エネに努める。
- 5 経営支援会議、運営会議により学校・幼稚園運営の円滑な推進を図る。
- 6 職員会議、週の打ち合わせを活用したOJTを実施し、組織の活性化を図る。また、このことにより経営参画を進める。
- 7 質の高い保育を目指した園内研修の充実を図る。
平成26年度は、研究主題「自分で考えて（自ら考え）、遊びを楽しむ子どもを育てる」について研修する。